



2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月15日
東

上場会社名 BRUNO株式会社

上場取引所

コード番号 3140

URL <https://bruno-inc.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 塩田 徹

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画部長

(氏名) 松原 元成

TEL 03-6631-0000

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第3四半期の連結業績(2024年7月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	11,314	14.0	399	59.9	277	164.8	149	—
2024年6月期第3四半期	9,924	—	250	—	104	—	△195	—

(注) 包括利益 2025年6月期第3四半期 138百万円(—%) 2024年6月期第3四半期 △194百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	10.45	—
2024年6月期第3四半期	△13.61	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 2. 2024年6月期第1四半期より四半期財務諸表を作成しているため、2024年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第3四半期	10,620	5,168	48.6
2024年6月期	10,336	5,088	49.2

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 5,168百万円 2024年6月期 5,088百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2025年6月期	—	0.00	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	8.2	400	172.5	280	—	100	—	6.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年6月期3Q	14,717,350株	2024年6月期	14,717,350株
2025年6月期3Q	374,735株	2024年6月期	374,735株
2025年6月期3Q	14,342,615株	2024年6月期3Q	14,342,635株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

今期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、2024年8月14日付けにおいて公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。

なお、詳細については、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2025年5月15日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2024年7月1日～2025年3月31日）におけるわが国経済は、賃上げによる個人消費の回復やインバウンド需要の拡大を背景に、緩やかな回復基調を維持しました。実質GDP成長率は2024年度0.7%、2025年度1.2%と見込まれる一方、物価上昇率（CPI）は2.7%と高止まり、生活コストへの影響が続いています。海外では、米中貿易摩擦や中東情勢の緊張を背景に世界経済の成長鈍化がみられ、米国では金利高止まりによる景気後退懸念、中国では不動産市況の低迷が続く、IMFは2025年の世界成長率を2.8%に下方修正しました。日本経済は内需を中心に回復を続けていますが、外的リスクへの警戒が必要な状況です。

このような状況の中、当社グループ第3四半期連結累計期間における売上高につきましては、前年同期比114%と回復傾向をみせております。「BRUNOカタログギフト」は4つのコースにて展開し、幅広いギフト需要に対応、販売額は前年同期比166%と大きく伸長、引き続き好調に推移しております。また、EC販売の売上高も前年同期比133%と大きく伸長、特にAmazonサイトにおいてBRUNOカタログギフトやキッチン家電等が売上に貢献いたしました。

『BRUNO』ブランド商品は、新生活向け商品スティッククリーナーや、シーズン家電、シーズン小物の売上も好調に推移、『BRUNO』ブランドの売上高は前年同期比118%となりました。

トラベル商品ブランド『MILESTO』は、インバウンド需要および国内トラベル需要を取込むことで、「トラベルバッグ」など各種トラベル関連商品の売上が拡大、『MILESTO』ブランドの売上高は前年同期比138%と大きく伸長いたしました。

子会社ジャパングヤルズとコラボレーションした美容マスクや美容機器などの美容商品も、売上を拡大すべく進めています。

以上の結果、当社グループの第3四半期連結累計期間における売上高は11,314百万円（前年同期は9,924百万円）、営業利益は399百万円（前年同期250百万円）、経常利益は277百万円（前年同期104百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は149百万円（前年同期は195百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業は、国内卸販売において、BRUNOブランド商品のスティッククリーナーやMILESTOブランド商品などで売上を伸ばしたものの、キッチン家電の売上が伸び悩み、売上高は前年同期比を下回りました。海外販売においては、現地ニーズに対応したBRUNOキッチン家電商品を開発することで、売上が拡大、また子会社ジャパングヤルズにおいても海外販売が拡大いたしました。これらの結果、住関連ライフスタイル商品製造卸売事業の売上高は5,420百万円（前年同期は5,048百万円）、営業利益は401百万円（前年同期は386百万円）となりました。

住関連ライフスタイル商品小売事業は、EC販売において、カタログギフトやシーズン小物等の売上が、Amazon等のサイトで大きく売上を伸ばしました。また、直営店におきましては、インバウンド需要および旅行需要を取り込むことで、トラベル関連商品の売上が伸びました。これらの結果、住関連ライフスタイル商品小売事業の売上高は5,863百万円（前年同期は4,850百万円）、営業利益は934百万円（前年同期は711百万円）となりました。

デザイン事業においては、売上高は29百万円（前年同期は25百万円）、営業利益は29百万円（前年同期は25百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、10,620百万円（前連結会計年度末は10,336百万円）となり、283百万円増加しました。

流動資産は、8,706百万円（前連結会計年度末は8,311百万円）となり、395百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の減少（527百万円）があったものの、受取手形及び売掛金の増加（321百万円）、商品及び製品の増加（258百万円）、短期貸付金の増加（200百万円）やその他の流動資産の増加（140百万円）等があったことによるものであります。

固定資産は、1,913百万円（前連結会計年度末は2,025百万円）となり、111百万円減少しました。これは主に、有形固定資産の増加（18百万円）したものの、無形固定資産の減少（101百万円）及び投資その他の資産の減少（28百万円）があったことによるものであります。

流動負債は、2,956百万円（前連結会計年度末は2,589百万円）となり、367百万円増加しました。これは主に1年以内返済予定の長期借入金の減少（93百万円）、未払法人税等の減少（55百万円）及び引当金の減少（18百万円）等があったものの、支払手形及び買掛金の増加（123百万円）、短期借入金の増加（302百万円）及び契約負債の増加（65百万円）等があったことによるものであります。

固定負債は、2,495百万円（前連結会計年度末は2,659百万円）となり、164百万円減少しました。その主な内訳は、長期借入金の減少（115百万円）及び長期未払金の減少（50百万円）となっております。

純資産は、5,168百万円（前連結会計年度末は5,088百万円）となり80百万円増加しました。これは主に為替換算調整勘定の減少（11百万円）等があったものの、利益剰余金の増加（92百万円）があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、2024年8月14日付けにおいて公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。

なお、詳細については、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,690	2,163
受取手形及び売掛金	1,499	1,821
商品及び製品	2,756	3,015
原材料及び貯蔵品	261	264
短期貸付金	770	970
その他	355	495
貸倒引当金	△21	△24
流動資産合計	8,311	8,706
固定資産		
有形固定資産		
その他（純額）	202	221
有形固定資産合計	202	221
無形固定資産		
のれん	1,432	1,334
その他	55	51
無形固定資産合計	1,488	1,386
投資その他の資産		
繰延税金資産	196	181
その他	155	139
貸倒引当金	△17	△15
投資その他の資産合計	334	306
固定資産合計	2,025	1,913
資産合計	10,336	10,620
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	649	772
短期借入金	826	1,128
1年内返済予定の長期借入金	308	215
未払法人税等	63	7
引当金	49	31
契約負債	175	241
その他	516	559
流動負債合計	2,589	2,956
固定負債		
長期借入金	634	518
長期未払金	2,000	1,950
その他	25	26
固定負債合計	2,659	2,495
負債合計	5,248	5,451

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,509	1,509
資本剰余金	1,818	1,818
利益剰余金	1,838	1,931
自己株式	△82	△82
株主資本合計	5,084	5,177
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3	△8
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	3	△8
純資産合計	5,088	5,168
負債純資産合計	10,336	10,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	9,924	11,314
売上原価	5,508	6,486
売上総利益	4,416	4,827
販売費及び一般管理費	4,166	4,427
営業利益	250	399
営業外収益		
受取利息及び配当金	30	14
為替差益	—	11
その他	13	32
営業外収益合計	43	58
営業外費用		
支払利息	19	17
株主関連費用	116	135
その他	52	27
営業外費用合計	189	181
経常利益	104	277
特別損失		
固定資産除却損	3	0
その他	0	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	101	277
法人税、住民税及び事業税	100	112
法人税等調整額	195	14
法人税等合計	296	127
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△195	149
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△195	149

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△195	149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	0	△11
その他の包括利益合計	0	△11
四半期包括利益	△194	138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△194	138

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住関連ライフ スタイル商品 製造卸売事業	住関連ライフ スタイル商品 小売事業	デザイン事業	計		
売上高						
国内販売	4,656	—	—	4,656	—	4,656
海外販売	391	—	—	391	—	391
店舗	—	1,883	—	1,883	—	1,883
E C・通販	—	2,967	—	2,967	—	2,967
その他	—	—	25	25	—	25
顧客との契約から生じる 収益	5,048	4,850	25	9,924	—	9,924
外部顧客への売上高	5,048	4,850	25	9,924	—	9,924
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,048	4,850	25	9,924	—	9,924
セグメント利益	386	711	25	1,123	△873	250

(注) 1 セグメント利益の調整額873百万円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に関する重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「住関連ライフスタイル商品製造卸売事業」セグメントにおいて、株式会社ジャパングヤルズの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、第1四半期連結会計期間において、のれんが1,510百万円発生しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住関連ライフ スタイル商品 製造卸売事業	住関連ライフ スタイル商品 小売事業	デザイン事業	計		
売上高						
国内販売	4,324	—	—	4,324	—	4,324
海外販売	1,096	—	—	1,096	—	1,096
店舗	—	1,933	—	1,933	—	1,933
E C・通販	—	3,930	—	3,930	—	3,930
その他	—	—	29	29	—	29
顧客との契約から生じる 収益	5,420	5,863	29	11,314	—	11,314
外部顧客への売上高	5,420	5,863	29	11,314	—	11,314
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,420	5,863	29	11,314	—	11,314
セグメント利益	401	934	29	1,364	△964	399

(注) 1 セグメント利益の調整額964百万円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に関する重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	69百万円	96百万円
のれんの償却額	80百万円	89百万円